

5 横の連携

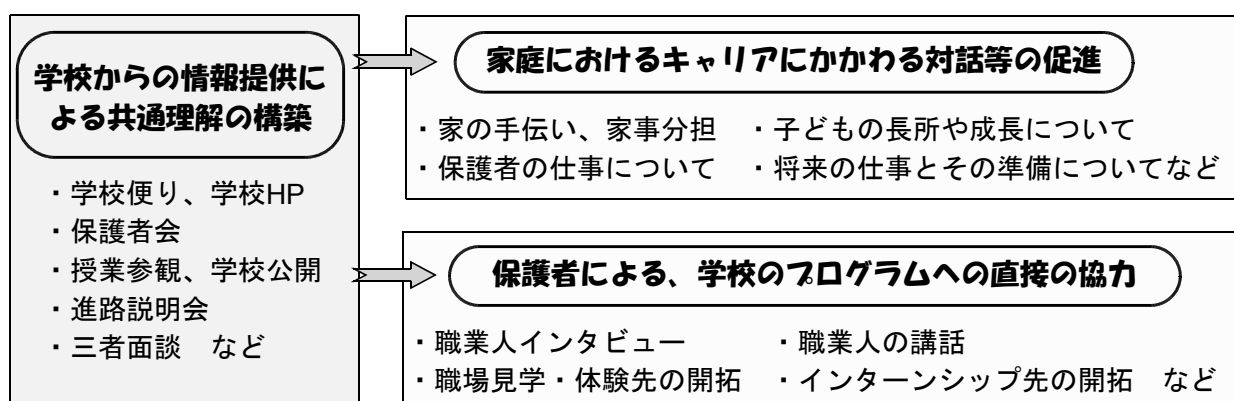
(1) 学校と家庭が連携したキャリア教育

①家庭・保護者に期待される役割

- ア 家庭は、子どもの成長・発達を支え、自立を促す最も重要な場です。
- イ 幼少期から生活環境を定着させたり、子どもに家庭での役割をもたせることにより、望ましい勤労観・職業観を育てることが大切です。
- ウ 学校での出来事や将来についてなど、子どもの話をよく聞き、自己肯定感をもたせることが大切です。

②連携の在り方

- ア 小学校段階では、遊びや家の手伝い、学級での係活動、勤労生産的活動等の中で、自分の役割を果たそうとする意欲や態度を家庭とともに育てていくことが大切です。
- イ 中学校段階では、キャリア教育への直接的・間接的な協力を家庭に求め、「職業人インタビュー」「職場体験活動」に直接参加してもらうほか、情報の提供をお願いすることも有効です。職場体験活動期間中は、保護者にとって、働くことの厳しさや楽しさについて家庭と語り合う絶好の機会となります。
- ウ 高等学校段階では、学校が「自叙伝」や「未来予想図」など生徒が保護者から話を聞く機会となるレポート課題を出すなど、家庭での対話を意識的に促進することが考えられます。また、職業理解講座の講師を務めたり、インターンシップ先を開拓したりするなど直接的な協力も可能です。



ポイント

学校での活動を学校と家庭それぞれの立場で認識し、連携・協力して実施していくことが何より大切です。また、学校が家庭での会話のきっかけになるような資料を作成し、各家庭に配布することも連携の促進に効果的です。

※参考：文部科学省『小学校キャリア教育の手引き』『中学校キャリア教育の手引き』『高等学校キャリア教育の手引き』

平川市立碓ヶ関中学校が「明日へはばたけあおもりっ子キャリア教育推進事業」の研究指定を受けた際に発行した学校だよりです。

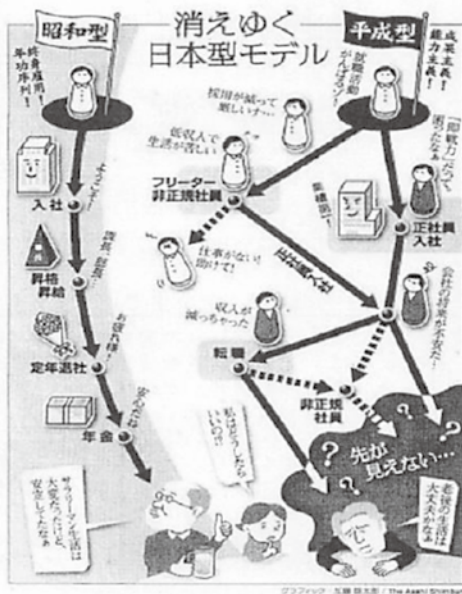
<p>学校便り 三笠山</p>	<p>AGORA 第11号</p>	<p>関中祭直前&神無月突入号 平成23年9月30日(金) 平川市立碓ヶ関中学校</p>
----------------------------	-----------------------	--

進路について考える キャリア教育とは何か

中学校の進路といえば、高校進学を中心（進学率98%の現状では当然であるが）に指導が行われてきた経緯があります。職業適性検査などを行い、その個人の適性に応じた職業に就かせるマッチングの進路指導が主流でした。しかし、高学歴＝高収入＝上流社会への図式のもとに、有名高校・大学への進学を至上とする傾向が社会に蔓延し、受験競争の過熱化に拍車をかけたものです。その結果、テストの点数で輪切りにされ、中学校卒業時点である程度将来の生き方が決定され、必然的に夢を持つことを諦めざるを得なかったとい

朝日新聞(21年7月12日付)「選択のとき」

うこともあったのではないのでしょうか。それでも、勤勉に働けば、定年までの雇用や昇格、昇給が保障された時代には生きがいを持てたと思いますが、会社が社員や家族の人生に責任を持っていた時代(昭和型)が終焉を迎えた今、進路意識や目的意識が希薄なまま、進学・就職する者は生き残れないと言われていています。(平成型:フリーターやニートの増加。即戦力を求める社会や企業の変容等)



そこで、若者が学校から職業生活に円滑に移れるよう、自立に必要な知識を育む「キャリア教育」や、具体的な技能を教える「職業教育」の重要性が指摘され始めています。「キャリア教育」とは端的には「児童生徒一人一人の勤労感、職業感を育てる教育」で小・中・高と段階的に継続的に行い、早くから自分を知り、働くことも含めて生きることを認識することが、将来の職業選択の判断の軸づくりを図るものと考えます。

本校では、今年度から3年間（～25年度）県教育委員会の「明日へはばたけあおもりっ子キャリア教育推進事業」の研究指定を受けました。碓ヶ関小学校並びに弘前実業高校との校種間連携を通して、「キャリア教育」についての推進方策等の研究をしていきます。今年度は手さぐり状態のスタートですが、弘前実業高校の「就業体験報告会」への参加や職場体験の事前指導としての「社会人の講話会」などを計画しています。不確実な社会をたくましく生き抜いていく力のある人間の育成のために事業を積極的に推進していきます。

「夏休みお手伝い大作戦」による家庭との連携例

平川市立碓ヶ関小学校

■ポイント

- ・保護者に学校のねらいを学校便り等で伝えています。
- ・保護者と共に学校も子どもの取組を褒め、成就感、自己有用感を与えています。
- ・振り返りカードを掲示し、自分たちのがんばりを学級等で共有させています。

1 ねらい

夏休みを利用して、普段、家族がしている仕事に触れる体験を通して、自分のよさや誰かのために働く喜びに気付かせるとともに、働くことへの意欲を高める。

2 取組の様子



ポイント

「とてもおいしそうですね、お母さんに感謝している優しさが素晴らしいです」と先生が称賛のコメントを添えています。

ポイント

振り返りカードを廊下に掲示しています。冬休みも同様の取組を実践しています。

3 取組の成果

- ・一つの手伝いをやり遂げたことにより、充実感や爽快感を味わって、もっと他のこともできそうだと可能性や意欲を見せている。
- ・継続して取り組んだことにより、今までやっていないお手伝いに取り組んでみようと取組に広がりが見られた。
- ・いつもは家族にやってもらっていたことの中に、**自分でできることがあることに気付いた。**
- ・言われる前にお手伝いしたところ、**親に褒められ、自分がやった実感と喜びを感じた。**
- ・家族が喜んでくれる姿を見て**これからも続けてやりたい**と思った。
- ・お母さんからコツを習っているうちに、**うれしさと感謝の気持ちがわいてきた。**



ポイント

成就感や自信を得たことにより、さらにお手伝いに対する意欲が旺盛になっています。

「家族のお仕事インタビュー大作戦」による家庭との連携例

平川市立碓ヶ関小学校

■ポイント

- ・保護者に学校のねらいをお便りで伝えていきます。
- ・働くことの意義を実感させていきます。
- ・子どもの気付きを保護者と先生が共感・共有しています。



1 ねらい

児童が接する最も身近な存在である家族の仕事に目を向けることにより、自分たちの生活は家族一人一人が働くことによって支えられていることに気付き、感謝の気持ちをもつとともに、自分も将来働くことを通して、誰かを支える人になろうとする意欲を育てる。

2 取組の実際と様子



ポイント

「お母さんは人を助ける仕事が好き」という気付きを得ることができました。

「きんろうかんしゃの日」とくへつきかく 4年1月 5日

かぞくのお仕事インタビュー大作戦

11月23日(金)は、「勤労感謝の日」です。おとうさんやおはなちゃん、おにいちゃんやおねえちゃんなど、支えてくれている方がたくさんいることについてインタビューしましょう。(インタビューシートが添付してあります。)

自分のお母さん インタビューしました!

インタビューしよう	おしえてもらったこと
1 お母さんの仕事は何ですか。	かんこし
2 お仕事をされていて、うれしいときをおしえてください	かんこさん、利用者が健康でいられたり、元気になった体で帰ること。
3 お仕事の苦労や辛い瞬間をおしえてください	入浴介助や体の重い人を支えたりする時、こしにふたんがかりのこし、お母さんの方にはおまかせのほうにまかせたいです。

※インタビューして思ったことや気づいたことをおしえてください。

イラストコーナー
お母さんは毎日かんこして、元気な体で帰ると嬉しい気持ちがいっぱいあるんだなと思いました。お母さん目も輝ける仕事が好きというところがわかりました。

家族へのインタビュー記入例

平成24年11月14日

「家族のお仕事インタビュー大作戦」のお知らせとお願い

美しい紅葉も終わりに近づき、冷たい北風が吹く季節となりました。保護者のみなさまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、キャリア教育の指定を受けて2年目の今年度、子どもたちの職業への関心は少しずつ高まっております。

本校では、身近な人々の仕事に気付かせることを通して、自分たちの生活はたくさん働く人々によって支えられていることに気付かせ、感謝の気持ちをもたせるとともに、自分も将来誰かのために働くことのできる人間になろうとする姿勢を育てることをめざしています。

そこで、11月23日(金)の勤労感謝の日を迎えるこの時期に、子どもたちにとって最も身近な存在である家族の方の仕事に目を向けさせたいと考えました。

つきましては、お忙しい時期とは存じますが、子どもたちのインタビューにお答えいただきたく、お願い申し上げます。インタビューカードは、低学年用、中学年用、高学年用別に作成してありますが、内容は同じです。お父様、お母様、おじいさま、おばあさま、お姉様、お兄様、もしくは、おじさま、おばさまでも、インタビューに答えてくださるご家族や身近な親戚の方であれば、どんなでもよろしいですので、どなたかお一人のご協力をお願いします。

お子様が二人以上いらっしゃる場合は、お一人の方が同時にインタビューに答えてくださってよろしいです。兄弟姉妹のインタビューカードの内容が同じになってまかまかせませんので、何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、「インタビュー大作戦」は、勤労感謝当日に限らず、ご都合のよい日にお子様のインタビューにお答えいただき、11月27日(火)までに、各学級担任にご提出くださるようお願い申し上げます。

保護者へのお便り

3 取組の成果

- ・ 普段はあまり仕事が大変だとは言わないので、**初めてインタビューして知ることができました。**
- ・ 仕事をする中では、いろいろな人のことを考えながら進めなければならない苦勞や、お礼を言われる喜びがあることを知りました。
- ・ 仕事には時間や交代制などいろいろなきまりがあり、その中で**苦勞していることを知りました。**
- ・ 外の仕事で疲れて帰ってきているのに、自分たちのために笑顔を見せて家の仕事をしてくれることに**感謝の気持ちをもてました。**
- ・ 子どもに関わる仕事の苦勞を聞いて、自分でもこれから困らせる行動はしないように気を付けようと思いました。

ポイント

「勤労感謝の日」の趣旨である「勤労を尊び、生産を祝い、互いに感謝し合う」から、「働く」ことを考える企画を計画しました。そのねらいは、達成できたようです。

保護者と生徒を啓発する学校便りの例

大間町立大間中学校

■ポイント

- ・校長がリーダーシップを発揮し、率先してキャリア教育を推進しています。
- ・学校便りにキャリア教育について記載し、保護者や生徒へ継続的に啓発しています。

くろまつ

平成25年 9月27日
大間中学校だより
第15号
文責 校長 関 道雄

『大間中学校の生徒さん方には、来年もお願いしたいと思います。』
一つの事業所のふより 大変うれしい話でした。
1・2年生 職場体験(本真会 石井 尚志) (11.12-13)

3年生が修学旅行に出かけている間、1・2年生は職場体験研修を行いました。社会人になるにあたって身に付けておかなばならないこと、職業人になるにあたっての心構えなど、さまざまなことを学ぶ機会であったことと思います。
職場体験でお世話になった方から直接お話を聞く機会があったので、紹介します。

(大間町の職場の方)

- ・以前に比べ挨拶がよくなったと思います。一緒に活動していて気持ちがいいです。

(むつ市の職場の方)

- ・明るく元気に活動してくれています。任せておくことができるので安心です。来年も大間中学校の生徒さん方には宜しくお願ひしたいと思います。

(むつ市の職場の方)

- ・他の学校の生徒に比べて、態度がよいと思います。心が育っていると思います。(どんな点から心が育っていると感じましたか?)

話している人の顔を見て、表情よく話を聴く態度がrippだと思ひます。私も長きにわたりいろいろな子どもを見てきています。明るい挨拶や返事など差違な態度で人と接することのできる皆さんは必ずお世話を生徒だと思ひます。

たくさんほめられました。生徒のみなさんの大切な財産だと思ひます。
人間は一人で生活していくことはできません。必ず人と人とのさまざまななかわりの中で生活していきます。そして、だれでもが気持ちよく生活したいと願っています。
だから、『挨拶』・『返事』・『身だしなみ』が大切になります。

ポイント

「挨拶」「返事」「身だしなみ」が、
社会人として必要なことを繰り返して
強調しています。

Theキャリア 「職業人講話」
よいお話でした。 味のある話でした。
人生の先輩から学ぶことは多かりし。(11.12 大間高等学校)

13日(水)に、大間高等学校でキャリア教育の取り組みとして「職業人講話」が行われ、本校からは2・3年生が参加して、それぞれの興味・関心のある講師の方の講話を2時間にわたって聴きました。講師のみなさんの話した内容を振り返り、これからの自分の将来をしっかりと見定め、これからの生活に役立ててもらいたいと思ひます。

ポイント

校長自ら、職場体験先の方と会い、生徒の様子について取材し、体験の成果を紹介しています。

《講師紹介》	
5校時担当	
・大間保育園	石澤 教子 氏
・こまつや薬局	斎藤 信一 氏
・長牛塗装	長牛 貴雄 氏
・JPDビジネスサービス	菊野 勝仁 氏
	笹谷 慎太郎 氏
・杉山建設工業	杉山 幹彦 氏
6校時担当	
・大間町長	金澤 満春 氏
・共同印刷工業	杉山 克也 氏
・美容室Hair Design F&M	榑谷 淳悦 氏
・NPO法人 観河	中井 裕貴 氏
・ロマンチック街道	山本 賢伸 氏

《キーワード》

習っていたことが、役だった。
(共同印刷工業 杉山 氏) 映画監督にはなれなかったが、学校で学んだ映像技術がCM大賞につながった。

(大間保育園 石澤 氏) 高校時代の放送部の活動が、運動会、発表会の行事のアナウンスに生かされた。

努力
(美容室Hair Design F&M 榑谷 氏) 不器用な自分だが、3年間一生懸命やれば、器用、不器用は関係ないと言われ、寮に帰ってからは一人でコツコツ練習した。

感謝
(大間町長 金澤 氏) 即、動く。連絡があったとき、すぐに足を運び感謝された。

生徒のみなさんには、よき「社会人」「職業人」として生きていくために、自分の持って生まれたものを深く探り、強く引き出してもらいたいと思ひます。だれもが、皆気持ちよく生活したいと願っています。
そのためにも、
いつでも、どこでも、だれにでも
『挨拶』・『返事』・『身だしなみ』が大切です。

〇〇〇〇 さん(大間高校2年)
本校にて3日間のインターンシップ (8.28~30)

28日(水)から30日(金)までの3日間にわたり、本校の卒業生である大間高校2年生の〇〇〇さんがインターンシップで本校に勤務しました。教師を志している〇〇さんが、教師の視線で1年生を中心に指導にあたり研修を行いました。新たな出会いから自分の成長の糧となる何かをつかんでくれたことと思ひます。また、最終日には本校の生徒に対して、進路に向けての講話を行いました。



「28日からの3日間、1年生とともに楽しく過ごすことができました。ありがとうございます。生徒ではなく、教師という視線で活動していくつもりでした。しかし、過ごしていくうちに高校生としてしか見ることができませんでしたが、この3日間の感想と私の今の想いを話します。

まず、思ったことは、「御飯を食べられること。」「自分のほしいものが買えること。」「今、自分の持っている知識。」などを皆さんはあたりまえのことだと思ひていませんか。これらは、今まで家の人や先生方が準備してくれているものです。だから、してもらっている側のみなさんが授業中寝ていたり、ムダ話をしていたりするのをおかしいと思ひます。

私は、このごろ、今案外しても意味がないと思うようになってきました。将来のためには今苦勞してもやるべきことを頑張るべきだと思ひます。私の悪い癖で「何とかなる。」と思ひ込み、時間を上手に使うことができず、後悔したことが多々あります。そこで、今からでもやれることはあるので、そのことを今頑張っています。中学校のときの担任の先生が話してくれた「そこで、あきらめたら、試合終了ですよ。」というスラムダンクの安西先生のことばを大切にしていこうと思ひます。夢はまっけてくれません。だから、今やれることに取り組んでいきたいと思ひます。お世話になったみなさんに感謝の気持ちを大切にしたい。

(8.30 校内弁論大会にて)

高校生の感想を学校便りで紹介

校長先生の願い・ねらい

生徒の活動を保護者や地域の方々に広く知らせることで、教育活動に対する理解を一層得られるようにしたいと思ひています。また、キャリア教育への理解も一層広まればと願っています。

インターンシップで中学校に来ていた高校生の感想を紹介しています。
この感想の後に、校長は、「よい話だと思ひます。ちょっとは自分のやりたいことを我慢して、自分の将来のために何かをし続けることが、皆さんには大切なことだと思ひます。」というメッセージを送っています。

自立と学力向上を目指した「チャレンジシート」

大間町立大間小学校・大間中学校

■ポイント

町ぐるみで、小・中が連携して家庭との連携を強化し、児童生徒の自立と学力の向上を目指し、町の将来を担う人材の育成を目指しています。

『チャレンジシート』作成の趣旨

大間地域では、児童生徒の基本的な生活習慣をより定着させ、家庭の理解と協力をさらに得るために、大間町学力向上研究会（大間町の全ての小中学校の教頭が構成員で大間町教育委員会が主催）を立ち上げ、「自立と学力の向上」を目指して、家庭と連携するため「チャレンジシート」を作成しました。

ポイント

テレビ、ゲーム、ケータイ、パソコンなどにかかわる約束を守ることを目的にしています。

ポイント

自立を促すために、自分でチャレンジする項目を自己決定させるようにしています。

ポイント

「早寝・早起き・朝ご飯」など基本的な生活習慣の定着を目的としています。



がくりよく こうじょう 学力の向上をめざして ～大間町学力向上研究会～

第2回（11/18～24）『ノーメディア・チャレンジ』『自立（じり）へのステップアップ』チャレンジシート

★★★ 我が家のルールを決めて、生活リズムを整え、家庭学習に取り組む望ましい習慣を！ ★★★

大間町立 _____ 学校 年 _____ 組 _____ 名前 _____

「メディア」（テレビ、ビデオ、ゲーム機、携帯電話、パソコンなど）の「使いすぎ」で「家庭学習時間」が少なくなっている「子ども」が増加中です！



「ノーメディア・チャレンジ」って何？

テレビ、ビデオ、ゲーム機、携帯電話やパソコンを使わず、くても生活できるんだ、ということに挑戦してみよう！



ノーメディア・チャレンジ

1 チャレンジする取り組み①～⑩（ ）内に○を記入して下さい。 ↓チャレンジ成功は○、できなかった日は×。

()内 に○を記入	チャレンジする項目	18 (月)	19 (火)	20 (水)	21 (木)	22 (金)	23 (土)	24 (日)
①()	テレビ（ビデオ・DVDを含む）は、番組を選んで見ます。（1日__時間以内）							
②()	テレビ（ビデオ・DVDを含む）は、時間を決めて見ます。（：～：）							
③()	食事の時は、テレビやビデオを消します。							
④()	ゲーム機は時間を決めて使います。（1日__時間以内）							
⑤()	夜9時を過ぎたらゲーム（ゲーム機・携帯電話・パソコン）をしません。							
⑥()	ゲーム機の使い方は、我が家のルールを守ります。							
⑦()	家に帰ったら、携帯電話の電源を切ります。							
⑧()	夜9時を過ぎたら、メールをしません。（携帯電話・パソコン）							
⑨()	携帯電話の使い方は、我が家のルールを守ります。							
⑩()	パソコンの使い方は、我が家のルールを守ります。							

自立へのステップ・アップ 「早寝・早起き・朝ご飯・歩いて登校……自分自身の力で生活できるようにしよう！」

1 チャレンジする取り組み①～④（ ）内に○を記入して下さい。 ↓チャレンジ成功は○、できなかった日は×。

()内 に○を記入	チャレンジする項目	18 (月)	19 (火)	20 (水)	21 (木)	22 (金)	23 (土)	24 (日)
①()	寝る時間を早めます。（午後__時__分）							
②()	朝、自分で起きます。							
③()	起きる時間を早めます。（午前__時__分）							
④()	「朝食」を、必ず食べます。							
⑤()	朝、歩いて学校に登校します。							

※ 目につくところに置いたり、貼ったりして、毎日記入しましょう。チャレンジ週間が終わったら、担任の先生に提出しましょう！

(2) 学校と地域が連携したキャリア教育

①地域に期待できる役割

ア 小学生に対して

地域への行事の参加や職場見学など、学校を中心とする地域との関わりを通して、自分と地域についての理解させることが大切です。

【活動例】

まち探検、自然体験、農業体験、町内会・子ども会活動、地域清掃・環境活動、職場見学受け入れ、職業人の出前授業、公民館活動 など

イ 中学生に対して

職場体験や地域行事への参加などを通して、地域の一員としての自覚を得させるとともに、将来の生き方、進路を考えさせる契機とさせることが大切です。

【活動例】

農業体験、ジュニアリーダー活動、地域ボランティア活動、職業人の出前授業、職業調べ、職場体験受け入れ、公民館活動、マナー講話、大学探検 など

ウ 高校生に対して

インターンシップや地域行事への責任ある参加など、異年齢の人々との交流や社会参画の機会を通して、地域の一員としての自覚を高めさせるとともに、リーダーシップやコミュニケーション能力を養うことが大切です。

【活動例】

地域ボランティア活動、職業人の出前授業、キャリアカウンセリング支援、インターンシップ受け入れ、公民館活動、住民対象の講座、専門学校・大学との連携 など

②連携の効果

ア 児童・生徒、学校にとって

- 自己理解を深め、職業に対する興味・関心を抱かせ、望ましい勤労観・職業観を育成することができます。
- 社会的なルールやマナーを体得し、実際の職場で求められている仕事への姿勢と社会で必要な知識や技能を学ぶことができます。
- 学校の学習と職業との関係について理解を深めることができます。
- 教職員の視野が広がるとともに、開かれた学校づくりを推進できます。
- 地域の教育資源(人材面・施設面など)の幅を広げることができます。

イ 地域・企業にとって

- 学校や児童・生徒の理解を促進することができます。
- 地域が一体となって児童・生徒を育てようという機運が醸成され、地域の活性化と教育力の向上を図ることができます。
- 次代を担う人材の育成が図ることができます。
- 職場の活性化が図ることができます。
- 社員教育の向上が図ることができます。
- 地域の活性化に貢献でき、企業・産業界等のイメージアップを図ることができます。

③連携の進め方(留意点等)

ア 学校から、キャリア教育の取組など教育活動について、地域に向けて積極的に情報発信することが重要です。→学校便りの地域への配布・回覧など

イ 管理職をはじめ、教職員が地域の会合・行事等に積極的に参加することが大切です。

ウ 学校行事(卒業式・文化祭など)、参観日等に地域の方々へ出席してもらう工夫をすることが大切です。

エ 地域の行事へ児童生徒を積極的に参加させ、キャリア教育の視点で活動させることが大切です。

オ 地域でのキャリア教育を推進させるために「キャリア教育地域推進連絡協議会」などを設置することが大切です。

※参考：文部科学省『小学校キャリア教育の手引き』『中学校キャリア教育の手引き』『高等学校キャリア教育の手引き』『キャリア教育の更なる充実のために一期待される教育関係委員会の役割―』

地域とふれ合う「関小配達おまかせ隊」

(Sekisyou Haitatsu Omakase Tai：略称SHOT)

平川市立碓ヶ関小学校

■ポイント

- ・地域・保護者に学校のねらいをお便りで伝えています。
- ・事前指導をしっかりと行っています。
(あいさつ、お話の仕方 ・不在の時の対応の仕方 ・安全のための約束)
- ・安全面や責任感の醸成を意識し、配達先を1人1か所に固定しています。



1 ねらい

- (1) 学校の手紙類を児童の手で直接届けることによって、地域の方々と触れ合う機会が増え、地域に対する親しみを深めさせることができる。
- (2) 挨拶や届ける時の話し方などを学び、実際に活動することで、コミュニケーション能力を高めることができる。
- (3) 責任をもって役割を果たす体験を通して「はたらく」ことの大切さに気付かせることができる。

2 取組の実際

3年生以上の児童から「関小配達おまかせ隊」(略称；SHOTメンバー)を募る

地域・保護者に「関小配達おまかせ隊」の趣旨を理解してもらい、メンバーの保護者の了解を得る

学校通信等のお手紙の届け先に趣旨を理解してもら

「関小配達おまかせ隊」の児童に委嘱状を出す

あいさつの仕方など事前指導を入念に行う

活動

年度ごとに児童のメンバーを更新または継続させる



学校通信を配達している児童

平成25年2月15日

保護者のみなさま

平川市立碓ヶ関小学校
校長 堀 西 浩 治

平成24年度SHOTメンバー任務終了にともなうお礼とお願ひ

立春を過ぎてもお寒い日が続いておりますが、保護者のみなさまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、お子様は今年度、初代SHOTメンバーとして、地域の方々に、学校からのお手紙をお届けする大切な任務を立派に務めてくださいました。学習発表会のお手紙をお届けしたときには、地域の方から、「子どもさんの手書きのメッセージ付きの招待状がとてうれしかった。」というお言葉をいただくなど、SHOTメンバーの活躍は、予想以上の高評価でした。これもひとえに、お子様方が、事前に練習したあいさつや受け答えをしっかりとすることができ、さらに笑顔でお手紙を渡すことができたためであると思います。事故もなく、安全に正理にお手紙を渡してくれたSHOTメンバーのみなさんにもから感謝すると同時に、快くお引き受けくださった保護者のみなさまに、この場を借りてお礼申し上げます。

さて、SHOTメンバーの一年間の任期終了及び6年生児童の卒業にともないまして、次年度に向けての新メンバーを募りたいと考えております。しかし、5年以下のメンバーのみなさまの中で、もう一年継続してもよいとお考えの方には、引き続きお願いしたいと考えております。

つきましては、現在のメンバーのみなさまに、平成25年度の継続希望の有無をお知らせいただきたいと思います。お忙しいところ恐縮ですが、お子様とご相談の上、下記の用紙にご記入いただき、2月20日(水)までに、学校印任を通してご提出くださるようお願い申し上げます。

キリトリせん

平成25年度 SHOTメンバー任務継続希望の有無について

年	児童氏名

※アカイのどちらかをかこんでください。

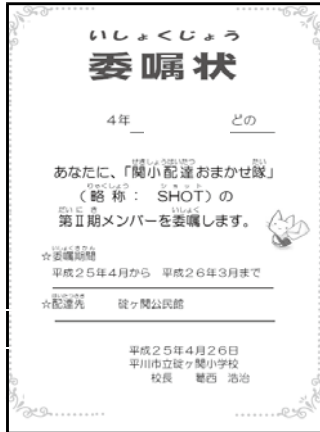
◎25年度のSHOTメンバーの任務を

(ア 継続してもよい ・ イ 継続しない)

保護者へのお知らせ



SHOTメンバー結成式・委嘱状交付



(平成24年度 SHOTメンバー結成式での話)
 教頭先生からは、関小配達おまかせ隊、略してSHOTメンバーについてお話しします。

まず、SHOTメンバーという名前についてなんですが
 初めは「関小はいたつおまかせたい」という名前にしようと思いましたが、学校からのお手紙を地域みなさんに配達してもらおうお仕事だからです。
 でも関小はいたつおまかせ隊って、ちょっと長すぎますよね。
 そこで、こうしました。
 関小はいたつおまかせたいをローマ字で書くとうなります。
 関小のS、はいたつのH、おまかせのO、隊のTだけくっつければ
 SHOTになります。そこで、SHOTメンバーとよぶことにしました。

SHOTメンバーのお仕事は、学校のおたよりを地域みなさまにおとどけすることです。学校と地域をつなぐ、大切なお仕事です。
 SHOTメンバーのみなさんのお仕事には、3つのルールがあります。
 「交通事故にあわないように安全におとどけする」「笑顔でおとどけする」「まちがえず正確におとどけする」
 このお仕事をだれかやってくれるかな？と聞いたら、全校のみなさんの中から23名のみなさんが、やりますよ。と言ってくれました。
 これから、この23名のみなさんに「いしょくじょう」というカードをお渡しします。委嘱状とは、「これからお仕事をお願いします。がんばってくださいね。」とお願いするカードです。
 全校のみなさんには、SHOTメンバーのみなさんが、これからお仕事をがんばってできるようにしっかりと見守って、はげましの拍手をおくってほしいと思います。それが今日の式の目標です。よろしくをお願いします。
 お話おわります。

SHOTメンバーについて

ポイント

モットーは安全・笑顔・正確

3 取組の成果

- ・地域の方々とのふれあいが増え、人間関係形成・社会形成能力向上の一助となった。
- ・自分の役割に責任をもち「はたらく」ことの体験を通して、自己有用感を育むことができた。

平成25年3月26日
 様
 平川市立旋ヶ関小学校
 校長 堀西 浩 治
 学校だより等のお届けについてのお知らせとお祝い

吹く風にもようやく春の訪れを感じる今日この頃ですが、地域みなさまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より、本校の教育活動にご理解ご協力をお願いしてまいり感謝申し上げます。

さて、本校では、昨年より、児童による「関小配達おまかせ隊」(通称:SHOTメンバー)を結成し、地域の皆様、学校だよりや学校行事の奉仕活動のお届けを行っています。このSHOTメンバーは、毎年募集をし、保護者の方の了承を得た児童に一年間委嘱する形でお届けしております。このたび、次年度平成25年度に向けての新メンバーが決定いたしましたので、改めてご挨拶申し上げます。新メンバーの正式な結成は25年度になってからですが、6年生児童の卒業にともない、3月26日(24年度学校だより最終号)の配達より、新たなメンバーで担当いたします。今後とも本校の教育活動へのご理解ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

記

1 お届け担当係について
 「関小配達おまかせ隊」(Sekaiyou Haitatsu Omasaka Zei: 略称SHOT)のメンバーである児童がお届けします。
 様には、24年度に引き続き、(新一年生)が
 お届けします。

2 「関小配達おまかせ隊」(略称SHOT)について
 (1) 学校の手紙類を子どもの手で直接届けることによって、地域の方々とふれあう機会が増え、地域に対する親しみや関心を深めることができます。
 (2) お届け方法
 ・保護者の了解を得た24名の児童が、1件ずつ担当を決めて、お届けにうかがいます。
 ・不在の際は、郵便受けに入れさせていただきます。
 (3) お祝い
 ・学校通信は毎月1回が基本ですが、学校通信以外にもお手紙をお届けすることがあるかと思っておりますので、よろしくお願いたします。
 ・児童の下课時刻等の関係により、SHOTメンバーどうしのお届け日や時刻に違いが出る場合がございます。何卒ご了承ください。
 ※ご不明な点などがございましたら、旋ヶ関小学校までご連絡ください。
 旋ヶ関小学校 電話 0172-45-2311

届け先へのお知らせ

事前指導に使った「心得」と「あいさつの仕方」

- ☆その1 お話のしかた・・・明るい声で。えがおで。
- 1 あいさつをしっかりと
 「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」
 名前と用件を言うこと
 「旋ヶ関小学校〇年〇〇です。〇〇をおとどけにきました。」
 - 2 帰るとき
 「失礼します。」「失礼しました。」
- ☆その2 不在のとき(るすのとき)
- 1 声をかけたり、チャイムをおしりして少しようすを見る。
 - 2 へんじがないようなら、メモをつけて新聞受けなどに入れる。
 ※メモは学校で用意します。
 ※るすのときは決められた場所に入れるようにします。わからない時にはもちかえること。
- ☆その3 安全のためのやくそく
- 1 おそくなったり、わすれたりしたときには、むりせず、次の日にとどける。
 - 2 とどけた次の日には「SHOTメンバーはいたつかくにん表」にOをつける。
 - 3 歩くときは、右がわを歩きましょう。
 - 4 おうだんするときは、右左をよく見て安全にわたりましょう。

SHOTメンバーの心得

「こんにちは、旋ヶ関小学校 年の といひます。
 きょうから(はくが わたしが)お手紙をおとどけします。
 よろしくおながいします。

きょうは、「学校だより」と「にゅうがくしきのごあんない」と「かんそうげいかいのごあんない」をおとどけにきました。

SHOTメンバーあいさつ1

「こんにちは、旋ヶ関小学校 年の です。
 4月から、(はくが わたしが)お手紙をおとどけします。
 よろしくおながいします。

きょうは、「学校だより」と「にゅうがくしきのごあんない」と「かんそうげいかいのごあんない」をおとどけにきました。

SHOTメンバーあいさつ2

出前型キャリア教育「きらめきタイム」講演会

平川市立碓ヶ関小学校

■ポイント

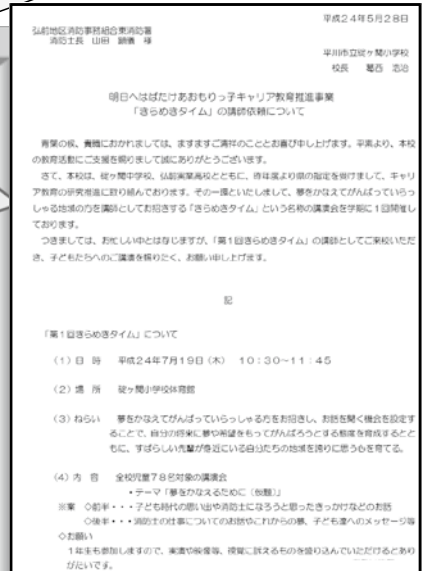
- ・講師との事前の打合わせをしっかりと行い、ねらいを共有しています。
- ・お話だけでなく、実演や映像を盛り込むなど低学年にも配慮しています。

1 「きらめきタイム」のねらい

夢をかなえた方を招いてお話を聞く講演会や、「はたらく」ことの意義を知る学習会を通して、自分の将来に夢や希望をもってがんばろうとする態度を育成するとともに、身近な地域の方を講師として招くことで、自分たちの地域を誇りに思う心を育てる。

地域の人や地元出身の方にお話し、平成23年から、年2回「きらめきタイム」を実施しています。

2 取組の実際(平成24年7月実施)



いかりがせきしょうぼうしょ
碓ヶ関消防署

きゅうめいきゅうきゅうし
救命救急士

やまだあきよし

山田顕儀さん

山田顕儀さんは碓ヶ関消防署にお勤めしている消防士さんです。現在は、救命救急士として、火事などの災害のときに人の命を救うお仕事をしています。「何か人のために役立つお仕事をしたい。」という夢をかなえて消防士になったという山田さんは、碓ヶ関小学校を卒業した、みなさんのせんぱいさんです。山田さんのお話の中で特に心に残ったことをご紹介します。

「夢をかなえるために大切なのは、まず勉強。そして健康であること。できることはすぐやること。あとでやればいい、なんとかかなと思うと、なんともならない。最後に、ほかの人をあてにしないこと。」

「幸運の女神には前髪だけあって、後ろ髪はない。近づいてきたときに気づかなければとおりでございまして。通りすぎてしまっから、あわてて髪をつかもうとしまっても、もうまにあわない。夢をかなえるチャンスはたくさんあるのだから、いつそのチャンスに出会ってもよいように、ふだんから努力しておくことが大切。」

大切なことをたくさん教えていただきましたね。山田さんのお話にあったように、みなさんも「夢中になれること」を見つけて、がんばってほしいと思います。

山田さんが貸してくださった消防士のまんが「め組の大吾」。おすすめです。



山田さんへの依頼の手紙

平成23年7月実施
アップルファクトリー
ジャパン(碓ヶ関)
社長 大湯知己さん



「人のために役立つ仕事をしたい」という夢をかなえた消防士さん

ポイント

山田さんには、子ども時代の思い出や消防士になろうと思ったきっかけ、消防士の仕事についてのお話やこれからの夢を先輩として語ってもらうよう事前をお願いしておきました。

平成23年12月実施
成田専蔵珈琲店
社長 成田専蔵さん
(碓ヶ関古懸出身)



山田さんへのお礼の手紙

ありがとうございました



平成24年12月実施
平川市ゆるキャラ5兄妹

平川市特産品ゆるキャラ5兄妹



食の大切さを伝えるために
ゆるキャラ5兄妹が学校訪問



スライドを見ながらのお話、子どもたちはみんな集中して聞き入っていました。大変だめになるお話でした。また、本物のボンベや消防士の服などを持ってきていただいたおかげで、実際に身につける貴重な体験をすることができ、子どもたちは大喜びでした。

「め組の大吾」も子どもたちに大評判で、全学年順番に読ませていただきました。長期間お貸しいただきありがとうございました。

山田さんのお話から教えていただいたことをふまえて、子どもたちが自分の将来に夢をもち、いろいろなことに挑戦していけるよう、指導していきたいと思えます。本当にありがとうございました。

とき

「夢は変わってもいい。変わりながらもある程度の目標を決めたらその目標に向かって頑張ってほしい！」

王林

「夢に向かって一生懸命に頑張るのは楽しい。必死になれることや自分に合った道を探して、あきらめずに進んでほしい」

樋川

「夢は変わってもいい、一度あきらめても、またやりたくなった時戻ればいい。好きなことを仕事にするコツは、自分の好きなことで周りの人の役に立つこと感謝をされること。そうすれば好きなことが仕事になり、ハッピーな人生になる」



平成25年7月実施
リングミュージック社長
樋川新一さん
りんご娘(とき・おうりん)

地域行事「たけのこマラソン大会」の運営を担った活動

平川市立碓ヶ関中学校

■ポイント

キャリア教育の視点から、生徒にどんな力を付けたいのか、ねらいを明確にしています。

1 ねらい

- ・地域行事に参加することにより、地域活性化に貢献する活動を通して、碓ヶ関地域に愛着をもち、碓ヶ関地域のために尽くそうとする心情の育成を図る。
- ・たけのこマラソン大会への協議参加・運営協力を体験活動の場として、自己を生かし主体的に課題を解決しようとする態度や互いに協力し合うことで、よりよい人間関係を築こうとする態度を養う。

《キャリア教育の視点から》

- ①体験的な活動を通して、自己存在感・自己有用感をもたせる。
- ②郷土のよさを知り、郷土への愛着と誇りを思う気持ちの育成に努める。
- ③地域社会との「横の連携」により、地域の方々とコミュニケーションを取りながら、共に働くことにより、勤労観の育成や人間関係形成・社会形成能力の育成を図る。

2 取組の実際

生徒が担当した係	仕事内容	人数
①競技参加+応援係	マラソン参加と応援	13
②総務係	たけっ子くんの着ぐるみを着て会場巡回	2
③表彰係+受付	表彰式準備、表彰補助	6
④本部給水係+受付	競技後の選手への給水サービス	6
⑤たけのこ汁係+受付	たけのこ汁配膳、洗い物、ゴミ処理	6
⑥コース係+受付	ゴール前で正しいゴールゲートに誘導	6
⑦着順整理係・ゴール通告係+受付	着順に整列させ、完走賞の配付	8

※縦割り班を基本に役割を分担し、教師もそれぞれの係を担当。

碓ヶ関小学生は競技に全員参加

3 取組の成果

- ・従来から参加している地域行事をキャリア教育の視点で見直すことができた。
- ・キャリア教育の視点で見直すことによってどんな力を育てるのか共通理解できた。
- ・キャリア教育の視点から生徒に対しての評価をすることができた。
- ・「地域のためにはたらく」「地域の行事に進んで参加する」取組によって、「ふるさとを誇りに思う気持ち」を培うことができた。



たけっ子くん



たけのこ汁を準備する生徒

マラソン大会前には、幼保小中連携によるマラソンコースの「クリーン作戦」が行われました。

弘前実業高等学校の卒業生と 在校生・碓ヶ関中学校生徒との進路懇談会

青森県立弘前実業高等学校

■ポイント

- ・ 地元に進学、就職した卒業生を活用しています。
- ・ 卒業生との事前の打ち合わせや生徒への事後指導がしっかり行われています。
- ・ 生徒の自己理解を深め、進路に対して関心を高めています。

1 ねらい

県内（地元）に進学または就職し、活躍中の卒業生との懇談等を通し、進路達成への意識の高揚と職業観の育成を図る。

2 取組の実際

日時	平成24年6月13日(水) 13:45～15:10(毎年実施)	
講師	22年度卒業生・県内(地元)就職者 青森県教育厚生会、角弘、町田&町田商会、 なかやま、加賀屋食品、メゾン	22年度卒業生・県内(地元)短大・大学進学者 弘前大学、弘前医療福祉大学、東北女子大、東北 女子短期大学、青森中央短期大学
対象	本校2、3年生就職・公務員希望者 碓ヶ関中2、3年生	本校2、3年生進学希望者
場所	第二体育館	第一体育館



全体会の様子と講師を務めた12名の卒業生

<先生方の願い>

- ・ 早い段階で、自分の将来について具体的な目標を立て、社会の現実を視野に入れながら、実現のための努力をしてほしい。
- ・ 社会の厳しさを知り、社会へ出たら何が必要であるか理解してほしい。
- ・ 自分を振り返り、長所を伸ばし欠点克服の努力をしてほしい。
- ・ コミュニケーション能力、忍耐力や協調性が必要であることを理解してほしい。
- ・ 働くことや学ぶことの意義を理解してほしい。



卒業生（就職）からのメッセージ

「本気でやってみることが将来必ず生きる。」
 「働いて面白いことは、自分で働いたことによって収入を得られる喜びがある。」
 「自分だけでなく家族やお客さんを幸せにできる。」
 「会社に行っても元気が大事。」「笑顔が大切。」
 「将来は必ず働くことになるので今のうちに勉強したり遊んだり充実させてほしい。」
 「同じミスは会社では許されない。」
 「部活の経験が役に立つ。」
 「自分の失敗が会社の不利益になる。」
 「ポジティブな考えが大切。」
 「働くということは、人の役に立ちたいという心が必要であること。」
 「社会の一員としての自覚が大切であること。」
 「周りに対する気遣いが大切である。」

卒業生（進学）からのメッセージ

「大卒後の進路を考えて選択を。」
 「英語の力が必要。」
 「どの学校に進学すれば、自分の将来の目標が達成できるか調べることが大切。」
 「興味・関心のある学科を選択してほしい。」
 「大学の学習内容やその後の進路先をしっかりと調べて選択してほしい。」
 「基礎学力を身に付けること。」
 「自分の将来の目標達成のためには日々努力しなければならない。」



在校生より

「社会の厳しさを知ることができた。」
 「社会では学校生活以上に協調性の忍耐力が必要。」
 「不得意なことでも自ら進んで取り組んでいかなければならない。」
 「今までの自分の行動が甘かった。」
 「毎日の学習の積み重ねが大事。」
 「資格取得が必要。」
 「今までの自分を振り返り、短所を克服しようと思った。」

中学生より

「高校生活がとても楽しかったんだなあと思いました。自分は進学するつもりですが、今がとても大切な時期だということを忘れずに生活したいです。」
 「働くことの楽しさや大切さを聞いた。」

3 取組の成果

- ・「自分自身を大切に思う気持ち」「自己をみつめる力」「つながる力」を培うよい刺激となりました。
- ・卒業生（就職者）にとっても、自分の職業や社会について振り返るきっかけとなった。
- ・大学生にとっても、今までの自分を振り返ることにより、社会的・職業的自立のきっかけとなる経験ができた。

生徒を指導者とした日商簿記3級検定対策講座

青森県立弘前実業高等学校

■ポイント

検定の設問別に講師の生徒を振り分け、その設問のエキスパートとし、活用力の向上を図るとともに、地域に貢献しようとする態度を養っています。

1 ねらい

- ・学んだ知識を地域へフィードバックすることで、さらに簿記に関する深い知識を身に付け、自ら考え問題解決できる能力を育てる。
- ・基礎入門講座ではなく、受講者の日商簿記3級検定の合格をめざす。

2 取組の実際

- ①講習内容；日商簿記の3級の検定対策
《仕訳、補助簿・勘定記入、計算表及び財務諸表作成、精算表など》
- ②講習期間；10～11月中 2時間(18時～20時)×8日
(平成17年より毎年実施されている)
- ③講習場所；青森県立弘前実業高等学校 多目的室
- ④受講者数；約20名(定員30名)
- ⑤申込方法；電話、メールで商業科担当教諭に申し込む
- ⑥講習会担当生徒；商業科3年生徒(2級取得者)
- ⑦講習料；無料
- ⑧「広報ひろさき・情報 information」でも募集

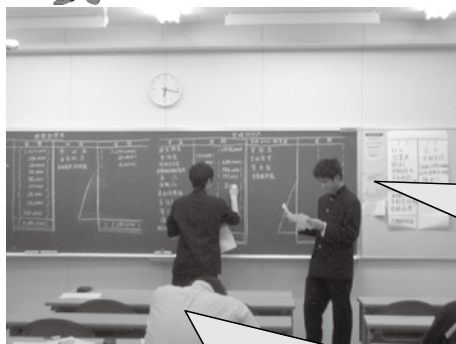
一生懸命教えているのが伝わってきているので、自分も頑張ろうと思いました。(受講者の声)



商業科担当教諭

ポイント

3年生が取り組む課題研究の一つで、教える側になって初めて分かることもあるのでいい勉強になっています。



問題を一緒に解いてみましょう。質問はありませんか。問題文は長いので一文ずつ読みましょう。

弘前実業高校の商業科の生徒が指導者となり、日商簿記3級の講習会を実施します。2級を取得した生徒が、皆様の合格をサポートさせていただきます。奮ってご参加ください。

教えられる側から教える側に立つのはとても難しく、何度も台本を書き直したり、解りやすく説明できるように努めました。自分でもあやふやだったり、よく理解していなかった部分があり、簿記についての理解を一層深めることができました。将来は1級を取りたいので頑張ります。

3 取組の成果

- ・基礎的・汎用的能力の自己理解・自己管理能力、課題対応能力の向上が図られた。
- ・毎年恒例となっているので、ニーズのある市民から好評を得た。

4 その他の取組

青森県立弘前実業高等学校では「日商簿記3級検定対策講座」の他に、地域と連携したキャリア教育の取組として次の取組を実践しています。

(1) 弘大・弘実・商工会議所「ビジネス」シュミレーション授業～高・大・商連携起業家育成カレッジへの参加～

◎主に「未来とつながる力」の育成を目指している。

弘大・弘実・商工会議所連携「ビジネスシミュレーション」授業 高・大・商連携 起業家育成カレッジ

目的 高校・大学・地元商工会議所が連携し、高校生と大学生との合同研究をとおして、自己の将来を考えさせるとともに地域に貢献できる人材の育成を図る。

日時 毎週金曜日: 14:20～17:30

場所 弘前大学

出席生徒 弘前実業高校 2年生「マーケティング」選択生徒17名
弘前大学学生 2年生 約40名

【協力】弘前商工会議所

(2) 弘前大学農学生命科学部開講「アグリ・カレッジ」への参加

◎主に「ふるさとを誇りに思う気持ち」「つながる力」の育成を目指している。

アグリカレッジへの参加

弘前大学農学生命科学部での講義

目的 将来の地域農業・農村地域担い手を育成

対象 県内農業高校2学年生徒
本校生徒7名参加

本校生徒へのアンケート
 地域への関心が高まった 7名
 担い手となる生き方を考えた 7名
 進路を考える機会になった 5名
 進路実現のための課題を考えた5名

課題
進路の検証



(3) 家庭科学部による地元農産物を加工した商品開発と販売体験

◎主に「ふるさとを誇りに思う気持ち」「創り出す力」の育成を目指している。

弘実「ものづくりプロジェクトチーム」では、家庭科学科が中心となり地元・弘前の「清水森ナンバ」を利用した商品開発に取り組みました。「清水森ナンバ」の栽培は農業経営科、パッケージデザインは、服飾デザイン科、商品ネーミングは商業科が担当し「弘実ナンバ旨みだれ」を開発しました。「食と産業まつり」で販売しました。



目指していた以上のものができました。ここまでおいしいものが作れたという驚きと達成感があります。

商品開発リーダーの声



おどろき桃の木コンフィチュール



レトロポーク弘実ナンバそぼろ



弘実ナンバ旨みだれ



食べる清水森ナンバみそ

(4) 「津軽姫」の弘前観光ボランティア活動

◎主に「ふるさとを誇りに思う気持ち」「つながる力・動く／生かす力」「創り出す力」の育成を目指している。

【青森県「高校生おもてなしプロジェクト」の一環として実践しています。】

高校生おもてなしプロジェクトとは・・・新幹線開業にあたり、これからの青森県の元気を担う高校生が、多様な機関、活動団体と協働し、自分たちのふるさと“青森”の豊かさ・温かさを全国に向け発信します。高校生が活動の中心となり、青森の豊かさ・温かさを“おもてなし”し、郷土青森県の一人であることを自覚し、地域づくり・まちづくりに関心を持つきっかけにするプロジェクトです。

ねらい

- ①弘前の歴史と文化を学び、その知識を活用しながら活動することによって、郷土を愛する心を養うとともに情報活用能力や課題対応能力を育てる。
- ②関係機関等と協働するとともに、観光客や関係機関の方々と接することにより、コミュニケーション能力を高める。
- ③学校と地域が連携して、生徒の社会人基礎力を育て、地域に貢献する人材を学校教育と社会教育の両面から育成するとともに地域活性化に貢献する。



商業科と情報処理科の生徒で結成

連携した関係機関

弘前青年会議所、弘前市観光コンベンション協会、弘前市役所農林課、FMアップルウェーブ、弘南鉄道など

第4回全国高校生「観光甲子園」に応募した時のプランシートより一部紹介します。

これまで、私たちは自らを「津軽姫」と名乗り、地元・弘前について学んだ知識を活用して、観光パンフレットを作り、着物姿で観光客へ配布するといった観光ボランティア活動をしてきた。観光甲子園の存在を知り、今まで調べてきた弘前の魅力が詰まったコースを提案し、私たち自身も観光ガイドとしてプランへ協力し全国へ向けて発信することで、自分たちの幅を広げ、学んだ知識を実践に生かせると思い応募した。

高校生による観光プランコンテスト「第5回全国高校生観光甲子園」では、弘前実業高校の和装ボランティア「津軽姫」のプランが、特別賞のNHK神戸放送局長賞を受賞しました。



観光客に配布した観光パンフレット

津軽姫とは・・・弘前実業高校商業科と情報処理科で結成された、初代弘前藩主津軽為信公が旗印に掲げた卍の心（私心を捨てて社会に尽くす心）を受け継ぐ郷土を愛する和装ボランティア集団です。郷土の歴史や文化を学び、少しでも地域活性化の手助けになればという思いから立ち上げました。和装と言っても着物にブーツという「洋」を取り入れた様式で、歩きにくさや堅苦しさを取り除いたスタイルになっています。津軽姫スタイルは、弘前城のような和風建築物やレトロな洋館が多く存在する弘前の景観にとってもよく似合います。

(3) 学校と地域をつなぐ人材の活用と組織づくり

①学校と地域をつなぐ人材とは

学校の教職員は勤務校の地域に住んでいないことも多く、キャリア教育を推進していく時、協力していただける人材や団体の情報が少ないことが考えられます。

そのような時に、学校のニーズを地域に伝える窓口になる人材と地域の教育資源（ヒト・モノ・コト）を掘り起こし、その情報を集約し、学校に伝えてくれる人材が「学校と地域をつなぐ人材」です。

例えば

（学校のニーズを地域に伝える窓口）

○管理職 ○PTA 役員 ○学校支援ボランティア など

（地域の情報を集約し学校に伝えてくれる人材）

○社会教育主事 ○社会教育関係職員 ○地域活性化の地方公共団体部局

○経済団体 ○NPO ○キャリア教育コーディネーター など

②学校と地域をつなぐ人材の活用

学校が地域とつながるためには、学校と地域をつなぐ人材を発掘し、活用していく必要があります。そのためには、諸教育活動の中で地域との連携を推進し、活動を継続、改善していく中で情報を地域に発信するように努めていく必要があります。そのような積極的な活動によって連携の輪が広がっていきます。

また、地域にいるキャリア教育コーディネーター等を積極的に活用することも大事です。

③組織づくりの進め方

学校と地域との連携を進めるためにキャリア教育推進協議会などを設置する方法があります。その場合、次のような手順で行いましょう。

ア 地域にどのような活動や団体があるか情報収集します。

イ 学校のニーズを共通理解し、集約します。

ウ 連携する団体の活動目的を理解した上で協力を依頼します。

エ 推進協議会の中に実際に活動を行う代表者とコーディネートする者が協議する場（部会、会議など）を設けるようにします。

※ 地域にキャリア教育コーディネーターがいる場合には、ア～ウのことをお願いすることができます。



④期待される効果

ア 推進協議会の中で多様な立場でキャリア教育について話合うことで、新たな発想や活動の展開が期待できます。

イ 学校関係者以外の方と連携することで、地域のキャリア教育についての認識が広がります。

⑤留意点

ア 協力してくれる地域団体と学校双方に互恵性が生まれる活動を行うように努めましょう。

イ 地域団体の活動と教育活動を関係付けられないかという視点で見直しましょう。

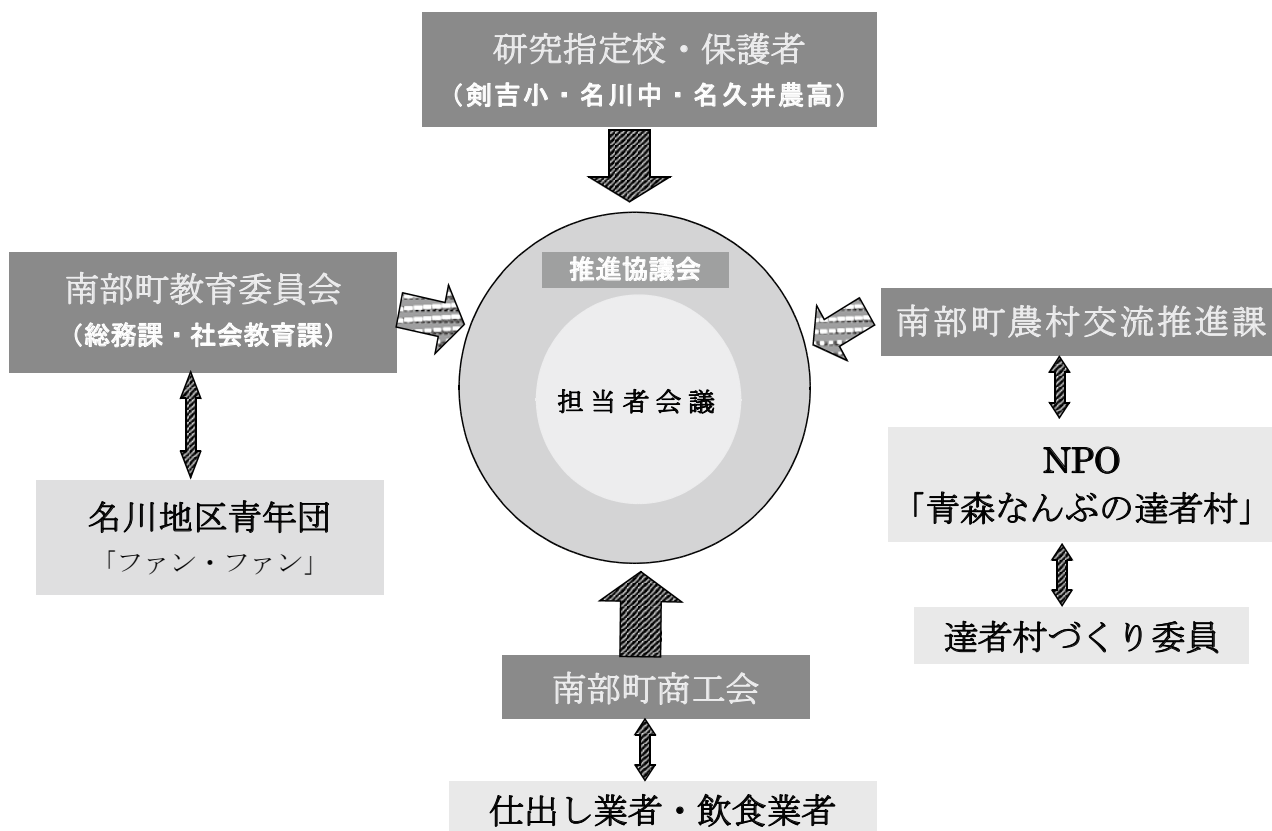
ウ キャリア教育が継続的に展開できるように相互に無理がない活動を計画しましょう。

学校と地域団体が連携した「キャリア教育推進協議会」

三八地域キャリア教育推進協議会

■ポイント

研究指定校と連携団体をもとにした推進協議会と各団体担当者が協議する担当者会議を組織し、相互の事情を理解しながら活動計画を立てることで、円滑に連携することができます。



1 推進協議会の構成

- 研究指定校（各校の校長、担当者 計6名）
- 南部町教育委員会（総務課・社会教育課の課長、担当者 計4名）
- 南部町農村交流推進課（課長、担当者 計2名）
- 南部町商工会（会長1名）
- 三八教育事務所（教育課長、社会教育主任、担当者 計3名）

2 担当者会議

- 研究指定校担当者（3名）＋南部町教育委員会（2名）＋南部町農村交流推進課（1名）＋三八教育事務所（2名）
- ※担当者が一堂に会し、各校の活動の現状報告や連携事業に対しての意見交換を行います。

3 推進協議会会議

- 年に2回、一堂に会し、活動の計画や報告を行い意見交流と共通理解を図ります。

意図を明確にした外部講師リスト

西北地区キャリア教育推進連絡協議会

■ポイント

教科や道徳、総合的な学習の時間などの授業を行う際、「こんな人が外部講師・ゲストティーチャーとして来てくれたら授業で活用できる。」ということを考えておくことが授業づくりのヒントになります。

外部講師・ゲストティーチャー「こんな人に来てもらいたい」リスト

学校	職種・人材	場面	内容	備考
小	よさこいソーランを指導できる方	体育の授業で (学習発表会等で)	よさこいソーランの踊り方と踊りの楽しさを伝えてもらいたい	
小	昔遊びを教えてくれる方	総合的な学習の時間で	昔の遊びを通して、子どもたちとコミュニケーションを積極的にとってもらいたい。	
小	和楽器奏者	音楽の鑑賞の授業で	和太鼓・三味線・琴などを演奏、和楽器のよさと楽しさを伝えてもらいたい。	
小	夢を語ってくれる方	道徳の授業で	努力すること、あきらめないことの大切さを語っていただきたい	高見盛 関 福士 加代子さん
小	地域社会に貢献している方	道 徳	地域・社会貢献をしたり、自分の夢や趣味を追い求め、いくつになっても輝きをはなっている年配の方の人生観を学ぶ。	
小	アーティスト	図 工	作品を鑑賞したり、作品を通して自己表現について講話してもらう。	
小	戦時中のことを話してくれる方	社会科	戦時中の暮らしの様子やその頃の状況、苦勞をどのように乗り越えたのかを話してもらいたい。	
小	自衛官	学級活動や道徳	被災地の現状や人々がどのように協力して苦難を乗り越えようとしているのかを伝えてほしい。	
小	板中生(卒業生)	20分の集会(講話)	〈1年〉特に頑張っていることや友人関係 (中1ギャップを乗り越えている精神力やたくましさ) 〈2年〉勉強と部活動の両立 (先輩と後輩がいるポジションで) 〈3年〉高校進学に向けての勉強や3年間の中で思い出に残ったこと (〇〇になりたいだけでなく、とりあえず〇〇高校に合格できるように頑張っている空気)	
小	板高生(卒業生)	20分の集会(講話)	特に頑張っていることや夢、小学校時代の様子、今の小学生にアドバイスしたいこと等のお話し。	
小	看護師や介護士	20分の集会(講話)	仕事に対する姿勢や責任について教えてもらいたい。	
小	料理人	家庭科の調理実習で	家庭科での実習支援を通して、料理の楽しさや飲食店の可能性を伝えてほしい。	
小	アナウンサーなど話しを職業にしている	国語や学級活動	・わかりやすい話し方の仕方を教えてもらいながら仕事の苦勞や楽しさを伝えてもらいたい。	
小	ねぶたやたこを作る方	図工や総合	・ねぶた絵やたこ絵の描き方を通して、まつりを通して郷土のよさを伝えてほしい。	
小	昆虫や鳥など生き物に詳しい方	理科、総合	・観察の仕方や採取の仕方などを教える活動を通して、昆虫や自然の魅力について伝えてほしい。	
小	津軽塗りやこぎん刺ができる方	図工や総合などで	制作体験活動の指導を通して、伝統工芸品を守っていくことの大切さを教えてほしい。	
中	戦時中大変な体験した方	社会科の授業で	戦争の悲惨さと、現代の私たちに望むことを伝えてほしい。	
中	日本原子力文化振興財団	理科	放射線の性質についての指導を通して、私たちがどのように放射線とつきあっていくべきかを伝えてほしい。	
中	JAXAの人、科学者、開発者	理科	理科の学習が、将来こういう風に役立っていると話してもらいたい	
中	新入社員用研修の担当の方	職場体験前に	接客マナー研修や新入社員用ビジネスマナー研修を通して立ち振る舞いの大切さを指導してほしい。	
中	外国人留学生	学活・集会	日本や地元の良さ、将来の夢についてディスカッションしてほしい。	
中	お菓子屋さんの人、パティシエ	学活、集会、総合	仕事の苦勞や楽しさ、必要とされる能力などについて具体的に教えてほしい。	
中	役場職員	総合	板柳町のよさや未来への展望について教えてほしい。	
中	料理上手なおばあちゃん	家庭、総合	伝統料理、魚のさばき方、保存食などを紹介してもらい、郷土のすばらしさを伝えてもらいたい。	
中	管理栄養士など	家庭、総合	調味料の不思議さや料理の魅力について伝えてほしい。	
中	農家の人、農協の人	技家、総合	栽培の仕方、育て方、りんご	
中	保健師、保育士	家庭、保健	からだのつくり、成長、赤ちゃん、性教育、幼児ふれあいなどを教えてもらいながら、仕事の魅力や大切さを伝えてもらいたい。	
中	編み物、手芸品づくりの得意な人	家庭	伝統工芸品づくり、あみもの、手芸品づくりを通して、手作り製品のよさを伝えてほしい。	

(西北地区キャリア教育推進協議会作成、一部修正)

ポイント

このようなリストを作成することで次のような効果が期待できます。

- 授業の中でキャリア教育を進める視点ができます。
- コーディネートする人が参考にし、人材を長期的に探したり、検討したりすることができるようになります。
- 依頼する学校側の意図を明確にすることで、適切な人材を得ることができます。



地域の教育資源が有効に活用される学習プログラム 小・中・高等学校が地域の活動と連携した活動例

三八地域キャリア教育推進協議会

■ポイント

- ・地域の活動と各校の教育活動を関連させることで、複数の学校と連携する活動を作り出すことができます。
- ・小・中・高等学校が身に付けさせたい能力を明確にして実践しています。
- ・学校と地域が連携した活動を継続することで、新しい活動が生まれ、団体との連携も広がっていきます。

【活動の概略】

南部町農村交流推進課が町の活性化のために企画した「地元食材を使って、巨大弁当（縦3m、横4m）を作る」という計画に小・中・高等学校が学習や研究活動で協力した活動です。

○小学校：総合的な学習の時間で行われていた「地元の産物調べ」の発展として「地元食材を使った惣菜」のイメージ画を描きました。

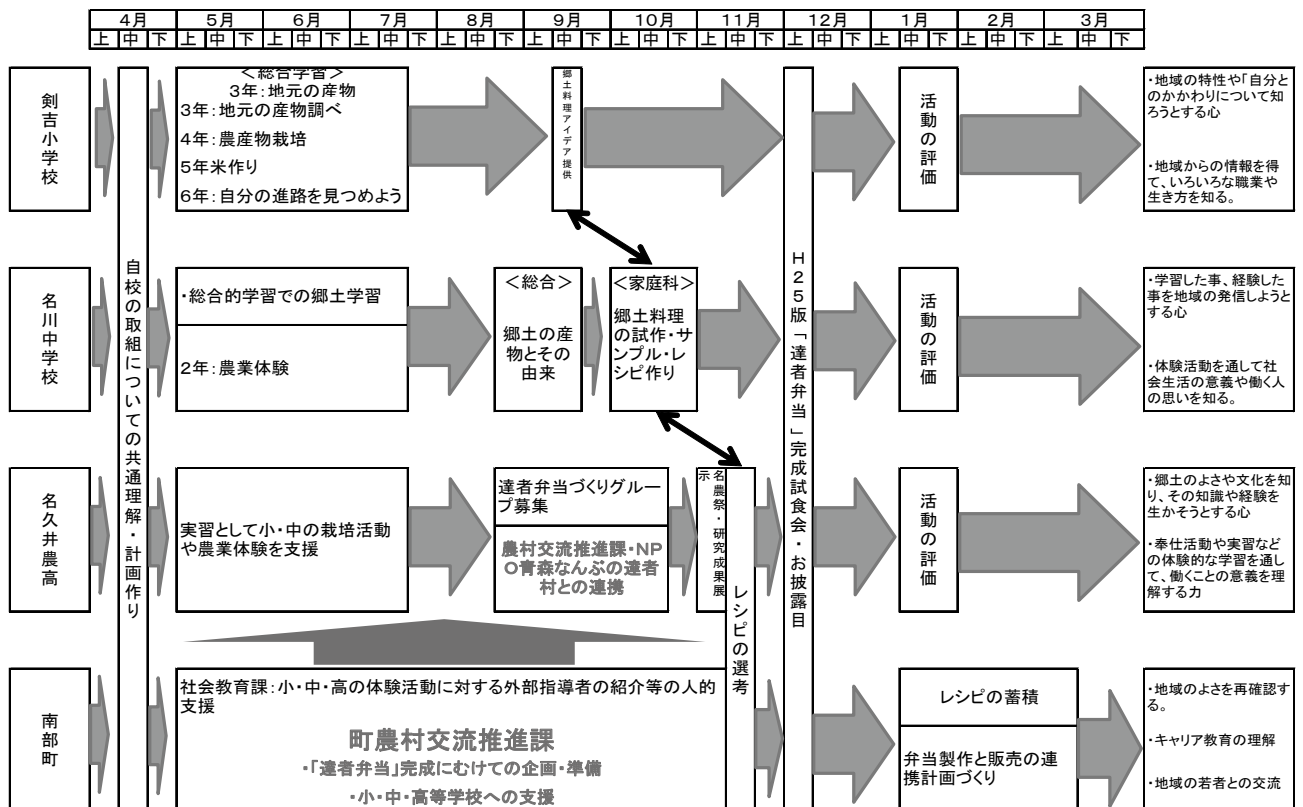
○中学校：小学生が描いた「お惣菜イメージ画」をもとに家庭科の時間を使って、レシピを作成しました。

○高等学校：調理研究を行うグループが栄養士の指導を受けながら、弁当に適した惣菜を選考しました。

「NPO 青森なんぶの達者村」の方々と連携して巨大弁当作りを実施しました。

○農村交流推進課：計画作成、連絡調整や資金、物資面での支援や援助を行いました。

「みんなで作ろう 達者弁当」小・中・高等学校連携イメージ図（社会とつながる力・ふるさとを誇りに思う気持ち）



小・中・高連携「達人弁当を作ろう」学習プログラム〈社会とつながる力・ふるさとを誇りに思う気持ち〉

		剣吉小学校			名川中学校	名久井農業高等学校	
		低学年	中学年	高学年			
職能的(進路)発達段階	進路の探索・選択にかかわる基盤形成の時期				現実的探索と暫定的選択の時期	現実的探索・試行と社会的移行の準備の時期	
	<ul style="list-style-type: none"> 自己及び他者への積極的関心の形成・発展 身のまわりの仕事や環境への関心・意欲の向上 夢や希望、憧れる自己イメージの獲得 勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の育成 				<ul style="list-style-type: none"> 肯定的自己理解と自己有用感の獲得 興味・関心に基づく職業観・勤労観の育成 進路計画の立案と暫定的選択 生き方や進路に関する現実的探索 	<ul style="list-style-type: none"> 自己理解の深化と自己受容 選択基準としての職業観・勤労観の確立 将来設計の立案と社会的移行の準備 進路の現実吟味と試行的参加 	
職能的(進路)にかかわる諸能力		職業的(進路)発達を促すための能力・態度を育成することが期待される具体的な能力・態度					
領域	領域説明	能力説明	低学年	中学年	高学年	中学校	高等学校
人間関係形成能力	他者の個性を尊重し、自己の個性を發揮しながら、様々な人々とコミュニケーションを図り協力・共同して物事に取り組む。	【コミュニケーション能力】 多様な集団・組織の中でコミュニケーションや豊かな人間関係を築きながら、自己の成長を果たしていく能力。	挨拶や返事をし、 「ありがとう」「ごめんなさい」を言う。 「日ごの考えをみんなの前で話す。」	自分の意見や気持ちをわかりやすく表現する。 友達の良い考えや考えを理解しようとする。 友達と協力し、字や活字に前向きに取り組む。	美牛餅屋の活動に参加し、役割と責任を共に果たす。 思いやりや気持ちを伝え、相手の立場に立つ考えや行動をよめる。	他者に配慮しながら、積極的に人間関係を築こうとする。 人間関係の大切さを理解し、コミュニケーションスキルの基礎を習得する。 リーダーとメンバーの立場を理解し、チームを組んで互いに支え合いながら仕事をする。 新しい環境や人間関係に適応する。	異年齢の人や異性等、多様な他者と、場に応じた適切なコミュニケーションを図る。 リーダー・フォロワーシップを發揮して、相手の能力を引き出し、チームワークを高める。 「日ごの思い」や意見を適切に伝え、他者の意思を的確に理解する。 新しい環境や人間関係を生かす。
			家で手伝いをする。 係の仕事をする。 与えられた仕事をしっかりとやり遂げる。 学校で働く人々に興味をもつ。 挨拶や返事を元気よくする。 みんなの前で話そうとする。	地域で働く人々に興味をもつ。 地域の食材を協力して調べる。 地域の食材を生かした料理を調べる。 地域の食材を生かした生かした惣菜を考えるたり、聞いたりする。 郷土の産物とそこに生きる人々のかつとを認識する。 南部町のイメージを表現する。	自分が住む町の産業に興味をもつ。 農作物を作る体験をする。 農作物を作る苦勞や楽しさ、工夫を調べる。 自分が住む町の農業の現状を調べる。 農産物の行方と、関わっている人々を調べる。 地域を活性化するために協力できることを考える。	栽培活動を通して、地域の特産物に関心をもつ。 地域の特産物についての歴史と、自分が住む町の変化や農業の変化等調べる。 地域の特産物を使った料理を調べる。 地元食材を使った弁当のためのサンプルを考える。 小学生や地域の方々との交流を進める。 地域のイメージを向上させる包み紙を考える。	小、中学校の栽培活動の支援を行う。 地域の特産物について興味をもち、調べる。 達人弁当の事業を理解し、地元食材を使った料理を作る。 地域の方々や交流し、達人弁当を完成させる。 農産物の生産から、加工、流通まで考えた農業の可能性について考える。 町役場の方やNPOの方とともに町の活性化に役立つことを考え、行動する。
			みんなが色々な仕事を分担していることを理解することができる。 一人一人の仕事が関連していることを理解することができる。 一人一人が約束を守り、仕事をすることでよりよい生活を送ることができることに気づくことができる。	地域で多くの農産物が生産されていることを理解することができる。 地域のよい面を残し、みんなに教えようとする意欲をもつことができる。 農業は大切な産業であることを理解することができる。 地域の人々との交流を通じ、郷土に対する愛着心をもつことができる。	南部町は農業を中心とした町であることを理解することができる。 農産物を生産する苦勞や楽しさ、工夫を理解することができる。 南部町の農業の現状について知り発展させる手立てを考えるとすることができる。 農業に関連して多くの人の手が関わっていることを理解することができる。	地域の農産物には、今と昔に違いがあり、時代によって変わってきていることがわかる。 過去から現在までの地域の特産物との由来を調べ、自分たちが住む地域の変化を理解する。 地域には昔から特産物を生かした料理が存在していたことを知り、それを作りたいという意欲を高める。 小学生のアイデアを生かしたり、地域の方々から栽培の援助を受けたり、料理について教えてもらったりする活動を通して、協力して郷土を守ってきたいという気持ちをもつことができる。	小、中学校の栽培活動の支援を行い、学んだ事人の役にたっていることを認識することができる。 地域にあった特産物や調べ、生産することが地域の活性化につながることを理解することができる。 町の事業「達人弁当」作りを通して、地域に貢献することで自己肯定感を高めることができる。 農業の可能性と良さや理解し、進路の広がりがわかり、将来に対し希望をもつことができる。 農業以外の仕事についても多くの可能性があることがわかり、進んで自分の将来について考えることができる。
			02学年生活科 「わたしたちの町大好き」 ～スーパーマーケット弁当の食材～ 02学年生活科 「野菜を育てよう」	04年総合的な学習の時間 「町の名産品を育てよう」 ～りんごづくり～ 03年総合的な学習の時間 「リサーチ！町のお仕事」 ～農家のお仕事(ごぼう堀)～	05年総合的な学習の時間 「地域から学ぼう」 ～米づくり～ 05年家庭科 「達人弁当作成のアイデアを考えよう」	0総合的な学習の時間(3学年選択) ①地元の特産品について調べる ②小学生のアイデアを生かした惣菜のレシピを考える。 ③地域の方々からの協力を得て、料理を試し、地食材を生かした惣菜を提案する。 ④地域の食材のすばらしさと、多くの人とつながるのよさを実感し、自分の考えをまとめる。	0総合実習 参加生徒：全校生徒から公募した有志 ①どのような大きさの弁当を作るかを設計する。 ②設計を元に必要な材料を計算し、割り出す。 ③メニューによって調理に適切な場所を検討する。 ④メニューごとに具体的な調理計画を立てる。



ポイント

小・中・高等学校で育成する具体的な姿を明確にし、行う活動を一覧にしてまとめた学習プログラムを作成することで、互いの活動についての共通理解が図られ、よりよい連携を行うことができます。



小中高校生が協力して完成させた弁当と記念の1枚

巨大達者弁当完成



「広報南部町」で取り上げられた記事



生徒が作った包装紙に包まれ販売される達者弁当

【活動の広がり】

「巨大達者弁当づくり」の活動が平成25年度には「弁当販売」の活動へと広がりが見られました。

○農村交流推進課：町長の提案で、「巨大達者弁当」を仕出し弁当化し、販売計画の立案を行いました。

「達者弁当」のレシピを蓄積し、地元仕出し業者等に提案しました。

地元仕出し業者を呼んで「達者弁当お披露目会」を開催しました。

○小中学校：「達者弁当作り」の活動を総合的な学習の時間や家庭科の指導計画の中に位置付け、活動を継続しました。

販売される達者弁当の包装紙のデザインを提供しました。

○高校：新設された「商品開発」の科目で「達者弁当」販売についての改善・活用の研究を行いました。

○他団体：町内仕出し、飲食店業者の「達者弁当お披露目会」への参加と市販化の検討を行いました。

「達者弁当お披露目会」に「達者村づくり委員」の方々が新たに協力してくれました。



ポイント

○図工や美術の時間で包装紙のデザインを考えさせるとき、広告店の方やデザイナーなどを外部指導者として招聘する。

○児童生徒が弁当の販売活動に関わる。

などの工夫で、更に職業観の育むことができます。

郷土の先輩の生き方に学ぶ

本県の児童生徒のキャリア発達を促すには、さまざまな経験をされた、本県出身の先輩方の生き方や価値観に触れることが極めて有効です。

ここでは、下記のお二人から御協力をいただき、それぞれの半生を文章資料としてまとめました。児童生徒は、ここから多くのことを学び、将来の生き方について考えてくれるものと思います。各校におきましては、お二人の生き方を児童生徒の実態に配慮しながら紹介いただければ幸いです。

野田 公俊（のだ まさとし）氏 プロフィール

- 1951年 八戸市生まれ。
（青森県八戸市立長者中学校、青森県立八戸高等学校、東北大学を経て）
- 1983年 東京大学大学院医学研究科博士課程修了。医学博士号を取得。
- 1984年 日本細菌学会黒屋奨学賞受賞。
- 1985年～1988年 アメリカ合衆国国立衛生研究所(NIH)に留学。客員研究員。
- 1990年 千葉大学医学部微生物学第二講座・教授。
- 2007年 千葉大学大学院副医学研究院長
- 2008年 文部科学大臣表彰「科学技術賞（理解増進部門）」受賞
- 2009年 日本細菌学会理事長
- 2009年 記念文化褒章受賞（八戸市市制施行80周年）
- 2013年 日本細菌学会浅川賞受賞
- 2013年 日本学術振興会 ひらめき☆ときめきサイエンス推進賞受賞

現在、「子供達の理科離れ防止の教育講演」を全国的に展開。
日米医学協力研究会コレラ専門部会員で国際交流も積極的に進めている。

鈴木 誠（すずき まこと）氏 プロフィール

- 1966年 青森市生まれ。
（青森県立青森高等学校、慶應義塾大学商学部を経て）
- 1988年 東洋信託銀行（現・三菱UFJ信託銀行）に入社。
- 1998年 約10年勤めた東洋信託銀行を退職。
慶應義塾大学院経営管理研究科（ビジネススクール）入学。
2年間のリサーチ活動の末、日本の農業再生ビジネスの必要性和可能性を発見。
- 2000年 同研究科を卒業。
- 2001年 日本ブランド農業事業協同組合の設立に参加し、事務局長に就任。
- 2003年 株式会社ナチュラルアートを設立。代表取締役に就任。
農業コンサルティング（再生事業、マーケティング、ファイナンス）を事業内容とし、設立から5年半で、年商170億円の企業体に成長させる。

主な著書 『脱サラ農業で年商110億円！元銀行マンの挑戦』（角川書店）
『「水」の力、「土」の力』（日本生産性本部）